

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

No. 3

2013.6.11 発行

ニュース担当者

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

乙津・小神・仙仁・田代

出演者の募集が始まりました!!

開催日: 9月16日(月・祝) / 会場: 北区滝野川会館

申込み締切りは7月31日(水)です

今年も奮ってご参加下さい!(すでに数名申込まれました)

第25回 関東アコーディオン演奏交流会 『独奏部門』

※詳細は募集要項、ホームページをご覧ください。

募集要項抜粋

学び合うためのコンクール『関東アコーディオン演奏交流会』は、アコーディオン愛好家の集まりです。出場に年齢、資格は問いません!



カット: 和里田えり子

■参加部門

- ①ジュニアの部 小学生から中学生
- ②初心者の部A ジュニアを除く経験3年程度(鍵盤楽器の経験無)
- ③初心者の部B ジュニアを除く経験3年程度(鍵盤楽器の経験有)
- ④シニアの部 年齢60歳以上
- ⑤一般中級の部 経験、年齢制限なし(パーマー&ヒューズ6巻以下レベル)
- ⑥一般上級の部 経験、年齢制限なし(パーマー&ヒューズ7巻以上レベル)

※採点・順位付けなしを希望できるようになりました。

■演奏時間 5分以内(一般上級は申請があれば6分)

■出場参加料 7,000円

目次

■募集要項抜粋...1

■実行委員会議事録より/広告のお願い...2

■東日本大震災被災地見学より...3~5

■東北アコーディオンジャンボリーの様子...6~11

■花岡教室第11回発表会訪問記/リード・フレンド・マリネ仲間募集...12

■アコーディオン夏の合宿あれこれ...13~14 ■ホワイトボード...15~16

＝実行委員会報告＝

■《第3回実行委員会議事録より》

【出席者:宇野、塚本、築山、乙津、東谷、橋本、北村、池田、田代、】

・参加申し込み状況⇒まだ募集開始をしたばかりですが、既に1名の出場申し込みがありました。ほかに5～6人から出場の話が届いています。

・見学者による審査の可能性に向けて⇒今年度実施できるかどうかは未定ですが、聴きに来る人を増やすことにつながったり、新しい風を送り込むことにもなると思うので、あまり厳格に決めないでとりあえずやってみるというスタンスで話し合いを継続しています。

・募集要項の一部見直し⇒これまで、一般中級の部の出場条件として「マニアンテメソッド 1 巻終了程度」としていましたが、解りにくいとの意見があり、講師懇談会で検討して頂きました。その結果、一般中級の部の募集条件を「パーマー & ヒューズ6巻以下レベル」とし、上級の部の募集条件を「パーマー & ヒューズ7巻以上レベル」とすることに決定しました。(すでにお知らせしている募集要項は変更済みのものです)

広告掲載のお願い

アコーディオンの愛好家は、年齢層も広まりその数も年々増えつつあります。



関東アコーディオン演奏交流会もアコーディオン愛好家の交流の場となって25回目を迎えました。「学び合うためのコンクール」でもある交流会の開催趣旨をご理解賜り、今年度もプログラムへ皆様の広告を掲載させていただきたくよろしくお願い申し上げます。

皆様の日頃の活動をPRする場などとして活用していただければ幸いです。

《申し込み締め切り》…8月25日(土)消印有効、までに版下をお送りください。

《申し込み・問い合わせ先》

〒189-0024 東村山市富士見町 4-17-32 北村きよ江 Tel&Fax 042-394-0481

① 名刺広告
3cm×7.5cm
3,000円

② 広告
5cm×7.5cm
5,000円

③ 広告
5cm×15cm
10,000円

広告サイズの比較
(枠線の幅はほぼ実寸です)



＝東日本大震災被災地見学＝より

東北アコーディオンジャンボリーに合わせて石巻市・東松島市を見てきました
案内人：石垣好春さん／歴史教育者協議会会員（元石巻市立小教員） 今春退職
参加者：7名（北村、塚本、本田、橋本、東谷、清水、乙津）

石垣好春さん(案内人)との出会い（橋本千香子）

お会いしたのは、3月10日（日）に仙台で行われた2回目の「ジュピターレッスン会」の時です。レッスンをする前に昼食交流会を行いました。自己紹介の時に石垣さんが石巻の状況を話されました。津波の被害があまりにも大きかったことを実際に見てほしいと。

今、石巻には全国や外国からも人々が大勢訪れているようで、自ら被災地のガイドをするようになりましたとの話でした。

自宅には、東京の見知らぬ方からアコーディオンが贈られたこともあってアコーディオンつながりを感じると言われました。瓦礫の撤去はほとんど終わり、今一番被災地に求められていることは「心のケア」だと話してくれました。

石垣さんは、今年の三月まで小学校で社会科を教えてこられましたが、音楽が大好きな方で、アコーディオンはもとより石巻二胡の会の代表をされています。是非石巻へ来てアコーディオンで音楽会を持ちたいとのことでした。

そんな出会いの後、「ジュピター合同合奏」のメンバーで横浜アコーディオン愛好会の本田さんより、是非この機会に被災地を訪れたいとの希望が出され、石垣さんに伝えたところ喜んで引き受けてくださることになりました。

日和山公園で説明する石垣好春さん▶



集合：5月17日（金）13：30（石巻イオン店バス停前）

14:45 石巻市日和山公園⇒15:15 石巻市立門脇小学校⇒15:35 東松島市大曲浜地区（慰霊碑）
⇒16：10 東松島市立浜市小学校⇒17：30 仙台駅

《最初の見学地》「日和山公園」



「日和山公園」から海岸線を望む▲



旧北上川上流を望みながら説明を聞く▲

旧北上川河口手前の中州から上流を見ると地盤沈下したのでかさ上げ工事が行われていた。波がドーンと来たところと、ジワーっと来たところがあった。まさかここまで来るとは思っていなかった。チリ地震の津波もここまでは来なかったと話していました。

《2 番目の見学地》「石巻市立門脇小学校」写真は校舎の一部



流されてきたたくさんの車が校舎にぶつかり、流れ出した燃料が燃えて校舎が焼けた。

門脇小学校では、帰した児童（1年生）と休んでいた児童とで3人が亡くなった（他不明児童4人）との説明でした。

《3 番目の見学地》「東松島市大曲浜地区」（慰霊碑）

慰霊碑表面には、犠牲者の氏名年齢が刻まれています。

裏面には、【(西暦 2011 年) 平成二十三年三月十一日午後二時四十六分太平洋三陸沖で発生したマグニチュード 9.0 の巨大地震による大津波は、大曲浜地区に三時五十分高さ約 6 メートルの津波が来襲し、第一波は大曲浜全域を飲み込み浜須賀地区にも及んだ。その有様は筆舌しがたいものであり、犠牲者数は三百六名にのぼり、多くの尊い人命のほか、家、工場、車を一気に失う壊滅な状態となった。

この間、大津波は国道 45 号をはるか越え仙石線まで達し、その数は第八波まで襲来した。



東松島市の被災地区が復旧や復興へと進むこととなるが、この大震災の教訓「地震が来たらすぐ高台へ避難すること」を後世に語り継ぐとともに、犠牲となった御霊が安らかなるよう鎮魂の石碑として、ここに建立いたします。平成二十四年八月十六日】と刻まれています。

《4 番目の見学地》「東松島市立浜市小学校」写真は校舎の一部（3 階部分が音楽室）



この辺りは高台と言っても浜というのは 2 階以上の鉄筋建て建物はこの小学校だけで、写真でわかるように校舎の一部（音楽室）だけです。

当時、この音楽室に児童 150 人と地域の人含めて 350 人が避難した（石垣さんの話）



写真左は、地震直後に電源が落ちたので震災時刻を示して止まったままの浜市小校舎の時計。

写真右は、石垣さんの話を聞く参加者の様子。

浜市小学校の元PTA会長から生の話を聞くことが出来た

私たちが浜市小学校で石垣さんから説明を聞いていた時に、たまたま校庭に居合わせた3人組の女性にカメラのシャッターを押して欲しいと頼みました。そのときシャッターを押してくださった方が、偶然にも2012年度の浜市小学校のPTA会長だったということで、彼女から当時の話を直接聞くことが出来ました。



もう壮絶でした。私は津波の前に外に出ていた。音も何もなくて、サイレンの音もしなかった。“しーん”としていて気が付かなかったんです。街の方から車が走ってきて、その人たちが止まって「津波が来ているよ」って教えてくれたんです。何言っているんだろうと思って見てみたら、真っ暗な壁で、たぶん圧縮されたんですね。壁になっていて高さも全然見えないし、3時40分ごろですね津波が来たのは。

(写真奥、松並木の向こう側は浜で、写真右手に川がある)その川から押し寄せてきた。

目の前の道路の両側にはずーと住宅が建っていたんです。近くに踏切があるんですけど、地震で踏切が閉まって車が殺到して通れなくなっていた。

国道は混んでいるのは解っていたので、地元なので抜け道を知っていたということもあったけれど、道路には出ずに田んぼの方へ

回ったところに安全松と言って松の見えるところがあるんです。その時そこから見たら松の木を波が“ボワッ”と乗り越えるところだったので、このまま居ても助からないと思ったので、とりあえず裏から国道に出なきゃと思ってさらに車で逃げて近くの病院へ避難した。そんな状況だったので息子たちとバラバラになってしまった。

後で息子に聞いた話では、流れてくる車が壁にぶつかり夜中中ガソリンの臭いがしていていつ火が付くか心配だったといっていました。息子たちはこの小学校の3階で一晩過ごしたんです。

子どもたちは、今ある校舎を綺麗に改装しても怖かった記憶が消えないのでここで勉強するのはいやだと言っている。廃校になることが決まっているので、せめて何か一つ楽しい思い出を残してあげられないかと実行委員会を立ち上げて話し合っているところです。と語っていました。



校舎をバックにツアー参加者全員で撮影

石垣好春さんの活動の様子

東京のN氏からアコーディオン「ジュリエッティ127型」(チャンバートーンの高級アコ)を送られた時の条件が、金銭ではなく、この楽器を使って演奏して被災地にアコーディオンの音色をとどけること。それが約束だったと語っていました。

早速実践すべく、今春退職したのを機会に4月からボランティアで被災地支援の演奏活動を開始。石巻市雄勝町(喫茶「緑」)、石巻市中里(喫茶「カフェヌーン」)、石巻市八幡町(喫茶「川べりの散歩道」)などで行ってきた。(石垣さんの「被災地支援演奏活動通信」より)

第4回東北アドベントジャンボリー

《ワークショップ》5月18日（土）16：00～ 会場：レストラン

「ジュピター」合同合奏練習の次に行われたワークショップには、「アコネット福島」の皆さんによると合奏と「秋田アコーディオンクラブ」の二人による重奏の二組が参加して、アコーディオンアドバイザー真野照久氏からワンポイントアドバイスを受けてました。



アコネット福島の合奏「アムール河」

アドバイス・・・息を合わせることを意識していただいたら多分もっと良くなるのではないかなと考えます。

気分を入れて弾いているところはすごくいいと思います。メロディーを歌うのはジャバラが命ですので、ジャバラ使いに気を付けながら息を合わせて演奏されたいと思います。



秋田アコーディオンクラブの重奏

八柳隆司さん／三浦雅絵さん「ドミノ」

アドバイス・・・ジャバラを抱えながら、体を使って気分を出していたのですごくいいと思います。メロディーですけども、体を揺らすぐらい歌われたらまたもっと良くなるんじゃないかなと思います。

あと、左手ですけども、ベースとコードが均等にと言いますかブンチャッチャでも、ちょっとベースを効かせる感じにさせると違ってくると思います。ちょっと弾いてみます。

《夕食を兼ねた懇親会の様子》5月18日（土）18：00～ 会場：レストラン

司会の氏家道子さん（宮城県）



最初に「ご苦労様でした」の歌を歌って始めます。アコーディオンに自信のある方は“ご苦労様でした”と次第に下げて歌ってください。音楽は低音ですよ。合唱でも低音がしっかりしていると素晴らしい。他の方は、次第にあげて歌います。心一つにして「ご苦労様でした」（拍手）

実行委員長の遠藤勇さん（宮城県）

「出会い、学び合い、そして少し挑戦しよう」をキャッチフレーズにして呼びかけました。岩手の家子さんから大合奏をして欲しい。また山形の荒川さんから「フリーマーケット」はどうだろうかと提案があり、実現に向けて取り組んできました。合同合奏が「ジュピ



ター」に決まり、関東の橋本さんに編曲していただいた譜面を見たときは“難しいなあ”と思いながらも、指揮をお願いした池田さん

と共に 2 回仙台に来ていただいて取り組んできました。本番では一緒に楽しく演奏したいと思います。

乾杯の音頭をとる石川晃雄さん（福島県）



こちらは、極めて深刻な状態がなお続いています。しかし、そうした中で関東のアコーディオン仲間の

大きな支援を得てこういった集まりを持つことが出来たことは本当に嬉しく思っております。大いにアコーディオンを楽しみ、仲間との友好も深めてまいりたいと思います。第4回東北アコーディオンジャンボリーの成功を祈念して“乾杯！”（拍手）

《会場の様子》



真野照久氏と真野哲郎氏（弟さん）によりアンサンブル「アメイジング・グレイス」を演奏▲



池田健氏の挨拶

関東アコーディオン演奏交流会は来年 25 周年です。その中で遠藤さんと知り合いましたが、数年

後に故郷の仙台に戻られました。戻って 4 年後に東北アコーディオンジャンボリーの話は遠藤さんから聞いて、一緒にやってきた仲間なので絶対に応援したい、一緒にやりたいという思いがありました。1 回、2 回、3 回とそのたびに東北の人たちと友達になって、交流の仲間が増えてきて楽しくて嬉しい。

今日、昼間「ジュピター」の練習をしましたが、一人一人の思いがああメロディーの中

に本当に出てくる。そういう瞬間が、振っていて震えてくる思いがある。是非明日、本番はそういう音を響かせて東北中の人達の支え、励みになる、そんな思いを目標に演奏しましょう。



橋本千香子さんの挨拶

第 4 回おめでとうございます。「ジュピター」の合奏っていうのは本当に大胆ですよ。初めてだからそういう経験もいいねって話していたのが 2010 の 12 月でした。そして 2011 年の 3 月 11 日に大震災が発生して、ガラッと思い

が変わってしまいました。津波の映像を見たときに、だれがユーチューブに送ったかわからないけれどもあの曲が入っていたんです。「私たちは一人じゃない」っていう言葉も蘇ってきて、この曲だったらっていう想いで書



清水節子さんの挨拶

(石川県)

JAA の機関紙の最後のページに「東北アコーディオンジャンボリー」っ

て載っていたんですね。私は、石川県ですし、合奏の経験がないので出来るかなって思っただけです。大阪新音の藤林先生に参加したいと話したら、先生が連絡を取ってくださいました。

早速、関東の池田さんから CD が送られてきました。東京や大阪の方たちとはちがって、石川県ではなかなか合奏が出来ないんです。



八柳隆司さんの挨拶

(秋田県)

やつやなぎと言います。前々回秋田開催で皆さんご期待された方もいらっしゃるかと思いますけれども（「すごい期待していたわよ」の声）残

りました。福島のアコネットの石川さん、私の憧れている尺八の佐藤さんにもお話して編曲したものが明日実現するんだなあ、すごいことだなあという気持ちで今日の練習の音を聞いていました。

だからこうやって誘っていただけるのはすごく嬉しいんです。それに、この「ジュピター」がすごく好きだったんです。池田さんから「2 回ぐらい合わせに来てよ」って言われて、一度東京の練習会に参加しました。その時、橋本さんから「一日早く現地入りして石巻の被災地を見て歩きませんか」と言われて、東北の実態を解っていなかったのもすごく嬉しかった。

私も昔、小学校の先生をしていましたから、昨日案内していただいて子供たちが苦しい思いをしているんだなあってすごく思いました。

念ながらいろいろな事情がありまして延期になってしまいました。今回無事に、こんなに盛大に出来て本当に良かったと思います。

震災により難儀された方もいらっしゃる中での開催ですが、かなり充実した催しになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



本田尚久さんの挨拶

(神奈川県)

横浜アコーディオン愛好会の本田と申します。今回どうしてお邪魔す

ることが出来たかと言いますと、やっぱり 3.11 は忘れられない出来事なんです。

私の父と母の実家が宮城県なんです。内陸の方なので津波の被害はなかったのですが、最初は全く連絡が取れなかった。無事が確認できるまで一週間ぐらいかかりま

した。

私は、ちょうど腹部動脈りゅうの手術を 2 月にして自宅療養中でした。横浜でもこの揺れでどうなのかと思っていたら、そのうちにあの津波がアメーバーのように迫ってくる映像をみて恐怖とすごいショックを受けました。それからずっと気になっていたのが今回お邪魔しました。昨日、石巻を見てきました。復興というお話も聞きますけどもどんな話です。

我々何が出来るとかなって考えても何も

できない。出来ないけれども、せめて忘れない
いってということが大事なのかなあと考えて
います。

今回バスアコ(ベースアコ)で参加します。
普通、ベースは左手でやる人が多いと思いま



**石川晃雄さんの
挨拶** (福島県)
原発事故の終息
宣言をしたこと
で、3年で保証が
時効になる。二本

すけど、ベースボタンは有りません。右手の
鍵盤で弾きます。せっかく持ってきたので音
を聞いていただこうかなと思います。明日の
本番も皆さんから元気をもらうことを期待
して演奏したいと思います。

松にも浪江の人たちが3千7百人ぐらい避
難してきています。まだ仮設住宅の問題もあ
るし、原発事故が終息したなんてとんでもな
い。歌いながら弾くのは初めてですが「ふる
さと浪江」を弾きます。(途中、歌に仲間の
応援が入る)



荒川一美さんの挨拶
(山形県)
よくぞ5月の田植え時
の忙しい時に選んでく
れたなあと(大笑)体が
ぼろぼろになっている
ときに。演奏もボロボロになると思います。
山形からの参加者は、前回より少なくなり残

念でした。合奏の練習には来るはずだったん
ですけど、親が入院しまして、毎日夜中に何
度も起こされるもんですから、さっきもちよ
っとそこで居眠りをされていてすみませんで
した。先ほど会場の受付あたりで“フリマ”
をやらせていただきましてありがとうございます。
売り上げの中から被災地へ2千円
ほどバックしたいと思います(拍手)



坂井 聡さんの挨拶
(宮城県)
今回初めてアコーディ
オンジャンボリーに参
加させていただきました
で、改めて遠藤勇実行委

員長と、おいでいただきました真野様、橋本
先生、池田先生方に本当に感謝したいと思い
ます。皆さんの力をあすに向けて今日はゆっ
くりと飲んでいただいて(笑)あすは素晴ら
しい一日にしたいと思います。



月のカケラの演奏「魅惑のワルツ」
佐藤祐子さん／横倉孝信さん

氏家さん(司会)の話

私尚綱(しょうけい)学院というところで院長先
生とか学長にお会いすることがあるので、「子ども
学科にアコーディオンを是非入れましょうよ」つて
お願いしたんですね。尚綱学院は被災者の仮設住宅
を運営していて、人、物、お金が申請通りおりたっ
ていうから、その中では是非アコーディオンを買って
くださいとお願いしているんです。

御喜美江さんがドイツの音楽芸術大学の副学長に
今年の4月になられましたね。アコーディオンの先

生で副学長になられたのは初めてなんですね。是非これをバネにしたいですね。

アコーディオンって“エコ”ですね。どこにだって持っていかけて、停電だって大丈夫

ですからね (大笑) 真っ暗闇でアコーディオン弾けますか？普段から弾いてないとダメですね。

《「ふれあいの会」風景》会場: 1 階「宮城野」(自由参加: 参加費 500 円)



まずは乾杯！

最初の歌は「見上げてごらん夜の星を」

アコ伴奏は池田健さん／ピアノ伴奏は橋本千香子さん

続いての歌は「北上夜曲」(下の写真左)



千田康司さんの演奏(宮城県)「パリの空の下」▲

千田康司さんの話：私の家まで津波が来て、1階に置いていたアコーディオンは全滅しました。2階にローランドのVアコがあってそれは無事でした。明日はVアコで弾きます。

皆さんに一言いいかったのは、「風評被害」がすごいんです。本当に魚なんか売れないんです。皆さんに宮城の魚を買って食べてもらえると嬉しいなと思っています。



石垣さん「河は呼んでる」



和田さん「碧空」「ラ・クンパルシータ」



飛び入りで、持参した歌をうたう
石川県から参加の清水さん▲



織田さん「シュワジヴェチカ」



前原さん「チャールダーシュ」



フィナーレは「浜辺の歌」でした